

本市における保健・福祉・子育てに関するさまざまな課題を解決し、「第6次荒尾市総合計画」で本市が目指す将来像「人がつながり幸せをつくる 快適未来都市」、さらに「南新地地区ウェルネス拠点基本構想」のコンセプト「有明海の夕陽が照らすウェルネスタウンあらお」の実現を目指している。そのため、市役所や社会福祉協議会などの保健・福祉・子育てに関する機能を移転・集約し、市全域で行っている保健・福祉・子育てに関する施設や団体などと連携することで、健康づくり、福祉及び子育て支援の充実を図るよう、「保健・福祉・子育て支援施設（仮称）（以下、本施設）」を整備する。

こういった流れを踏まえ、令和2年に基本構想を策定し、令和3年度では本施設の整備推進に向けて、導入機能や施設整備及び管理運営の方針等を定めるものとして「保健・福祉・子育て支援施設（仮称）基本計画」を策定する。

◆上位・関連計画における位置づけ

上位・関連計画における本施設の位置づけは以下のとおり。

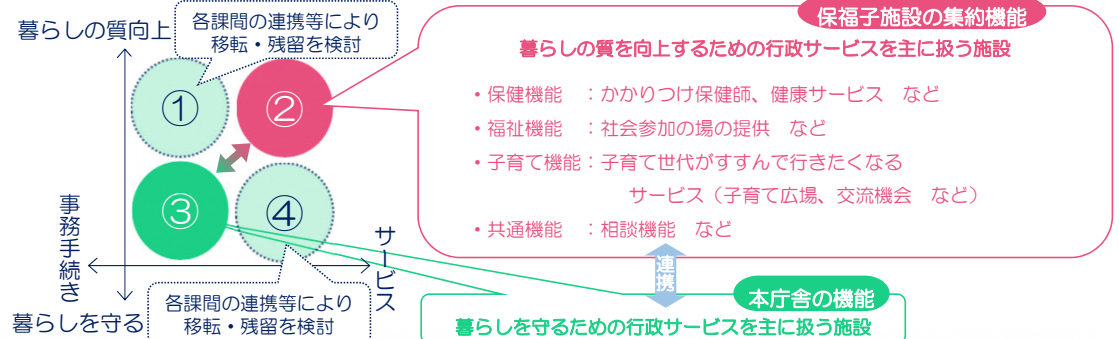
●保健・福祉・子育て支援施設(仮称)基本構想（令和3年3月）

地域資源と先進技術を活かした荒尾市ならではの健康づくりや福祉や子育てをワンストップで支援するサービスを提供し、ウェルネス拠点基本構想に定める心身の健康づくりの中核拠点として多世代の市民が利用する施設とするために、「心身の健康と地域の幸せを育み、子どもの成長や子育てを支援する拠点」をコンセプトとしている。

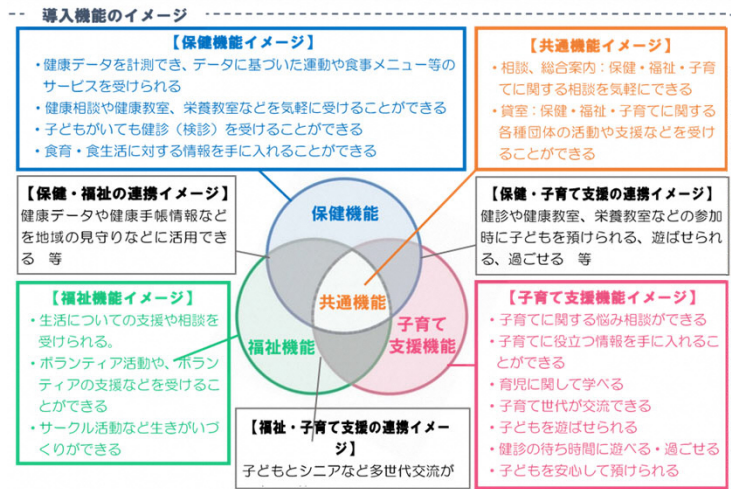
施設運営の方向性を①「市民がワンストップで相談や支援、行政サービスを受けることができる」、②「利用者が参画し協働で支える運営」、③「多様な主体の連携、交流拠点（公民連携）」として定め、市民に対するワンストップでの相談や支援の体制を構築し、多世代の利用者が集まり、支え合う場として利用者同士の共助を促進することで、誰一人取り残さない社会的孤立のないまちづくりに貢献するとしている。

◆本施設と本庁舎との棲み分け

本施設は、保健・福祉・子育て分野における拠点とし、地区協議会等の地域組織と連携を行いながら市全体へのサービス提供を図る。

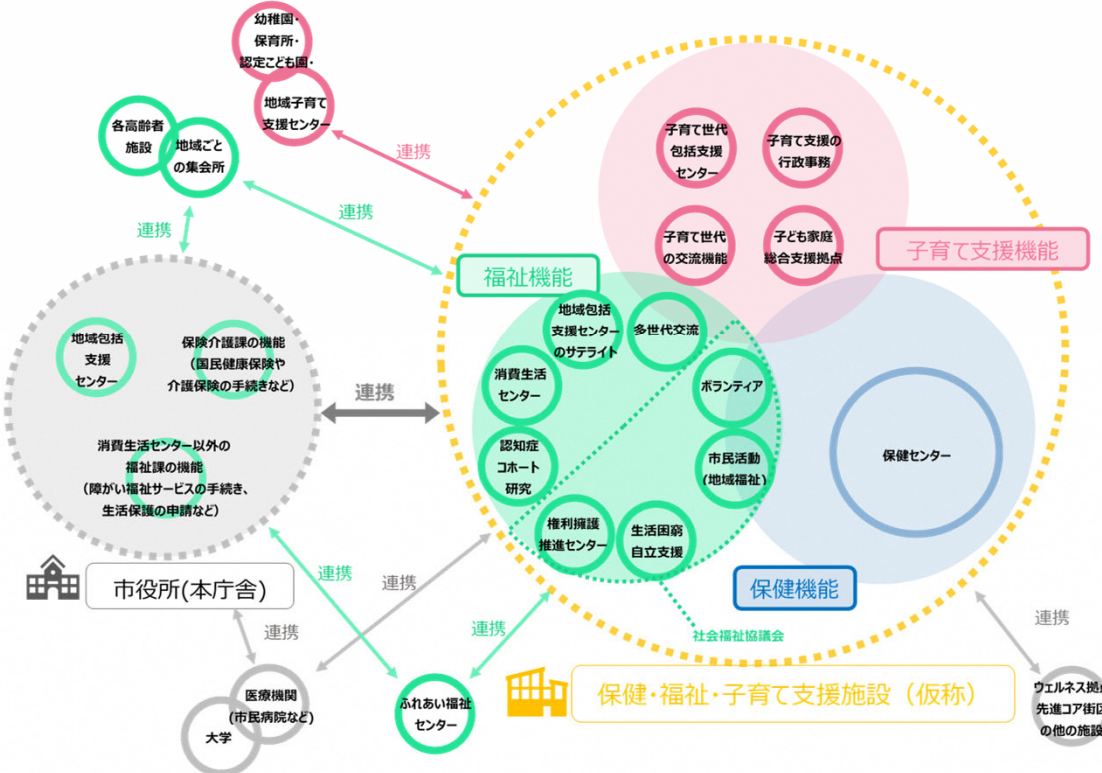


保健機能	福祉機能	子育て支援機能
●保健・運動機能 (健康相談、健康教室などワンストップの各種相談・支援など)	●地域福祉 (支え合い活動・見守り活動など)	●子育て支援機能 (ワンストップの相談や支援など)
●健診(検診)機能 (健診、保健指導など)	●生活支援機能 (ワンストップの各種相談や支援など)	●子育て交流機能 (談話室などの交流機能、子育て広場など)
●食育・食生活改善機能 (栄養教室など)	●社会参加支援機能 (各種団体、サークル活動・ボランティア活動など)	●託児等機能
共通機能		
●保健・福祉・子育てに関する相談や行政サービスをワンストップで受けることができる。 ●親子や多世代で楽しめる。交流がでる。 ●運動や遊びなど何かのついでに気軽にに行ける。など		
機能を集約するメリット		



◆市全域の保健・福祉・子育て分野における本施設の位置づけと連携

「本施設と本庁舎との棲み分け」の考え方を基に、本施設と本庁舎に併せ、周辺関連施設との関係性から、本施設への導入機能を以下のように整理する。



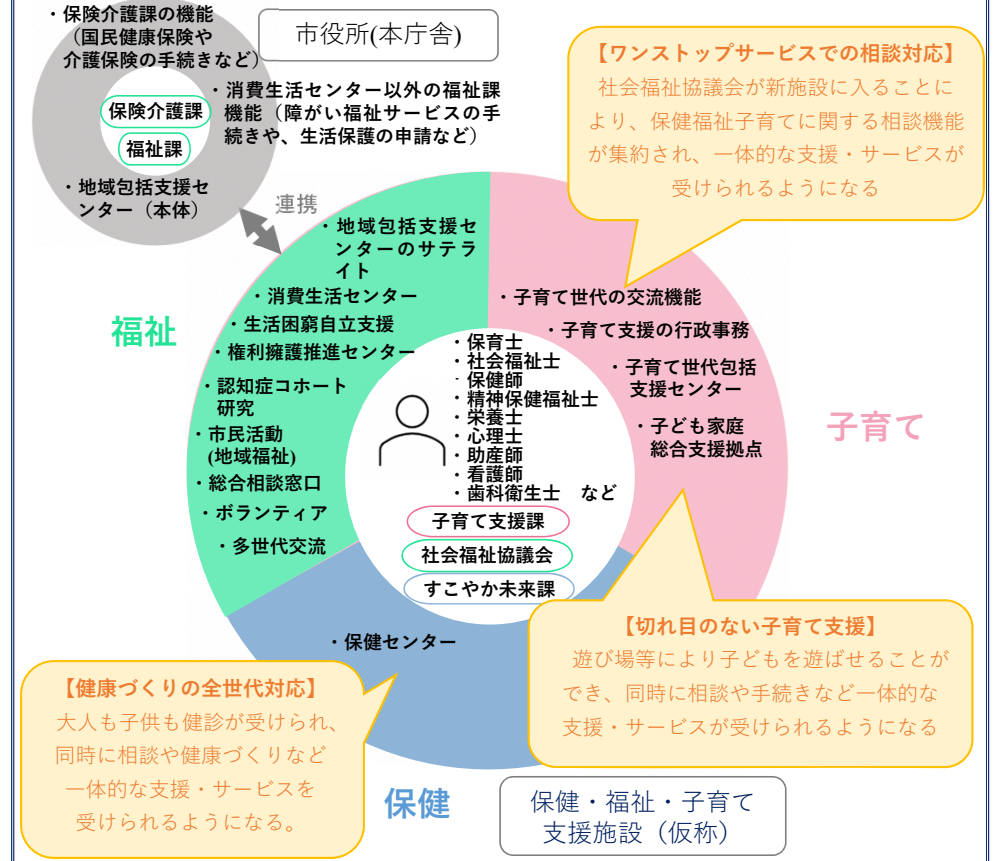
◆各課・団体の移転機能と実施内容

本施設と本庁舎で棲み分けされる担当課・団体と、機能ごとの実施内容を以下のように整理する。

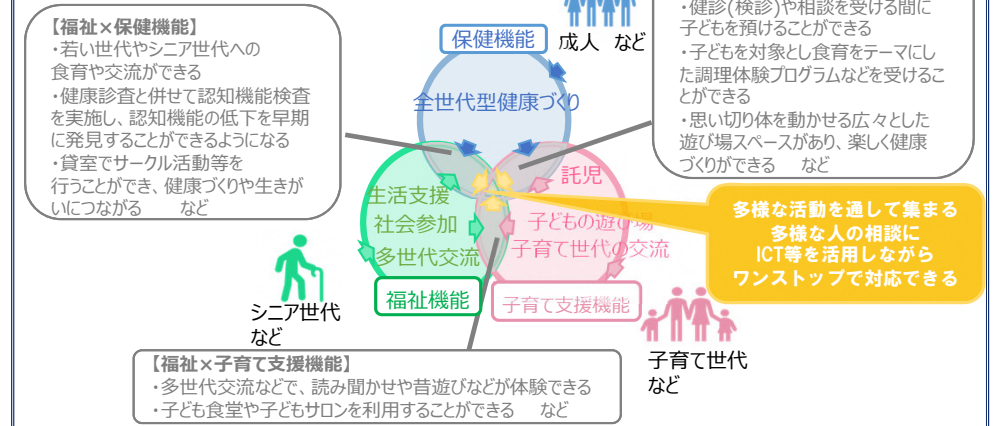
保福子施設		課・団体	本庁舎	
機能	実施内容（●既存○新規）		機能	実施内容
子育て世代の交流機能	○親子あそび場機能 ○子ども図書機能機能 ○保護者交流及びネットワーク化促進機能 ○託児機能	子育て支援課		
子育て支援の行政事務	●行政手続き機能 ●保育相談 ●保育士研修 ●ひとり親家庭支援 ●子どもの貧困対策			
地域包括支援センターのサテライト	●高齢者総合相談機能（介護、医療、虐待、権利擁護等）	保険介護課	本体	●地域包括支援センター（本体） ●保険介護課の機能（国民健康保険や、介護保険の手続きなど）
認知症サポート研究	●認知症大規模コホート研究協働機能 ●認知症大規模コホート研究（熊大）と市民の連携・交流機能			
消費生活センター	●消費生活相談機能 ●生活啓発機能	福祉課	本体	消費生活センター以外の機能（障がい福祉サービスの手続きや、生活保護の申請など）
生活困窮自立支援	●生活困窮の自立支援機能 ●継続的な相談支援機能 ●就労支援機能			
権利擁護推進センター	●成年後見相談 ●成年後見普及啓発 ●権利擁護相談 ●市民後見人育成 ●申立て支援 ●関係機関との調整	社会福祉協議会		
ボランティア	●ボランティア活動支援機能 ●ボランティア育成機能 ●コーディネート、マッチング機能 ●災害ボランティアセンター機能 ●福祉学習支援			
市民活動（地域福祉）	●ささえあい活動 ○介護人材育成 ●見守り活動 ●介護保険対象外の介護サービス ●介護予防・生活支援体制整備 ●日本赤十字社 ●貯筋体操（介護予防支援） ●共同募金会 ●生活支援ボランティア ●認知症カフェ ●フレイル予防教室 ●法外援助 ●フードバンク			
総合相談窓口	●総合相談 ●資金貸付 ●生活困窮相談 ○社会参加支援 ●心配ごと相談 ○重層的支援体制整備 ●レスキュー	すこやか未来課		
多世代交流	○多世代交流機能 ○情報コーナー（子育て・健康情報）			
保健センター	●成人健康診査・がん検診 ●特定保健指導 ●健康相談 ●乳幼児健診機能 ●食育・栄養指導 ○介護予防機能・運動指導機能 ●歯科指導			
子育て世代包括支援センター	●母子乳児及び幼児の健康保持・増進機能 ●母子保健相談機能 ●母子乳幼児保健指導機能			
子ども家庭相談支援拠点	●子ども家庭相談による情報提供・総合調整機能 ●要支援児童及び要保護児童への支援機能 ●関係機関等の連絡調整・児童相談所との連携機能			

◆機能集約によるメリット

本施設への集約機能と配置される担当課・団体・専門家によって提供できる新たな価値を以下に示す。



◆本施設の特徴



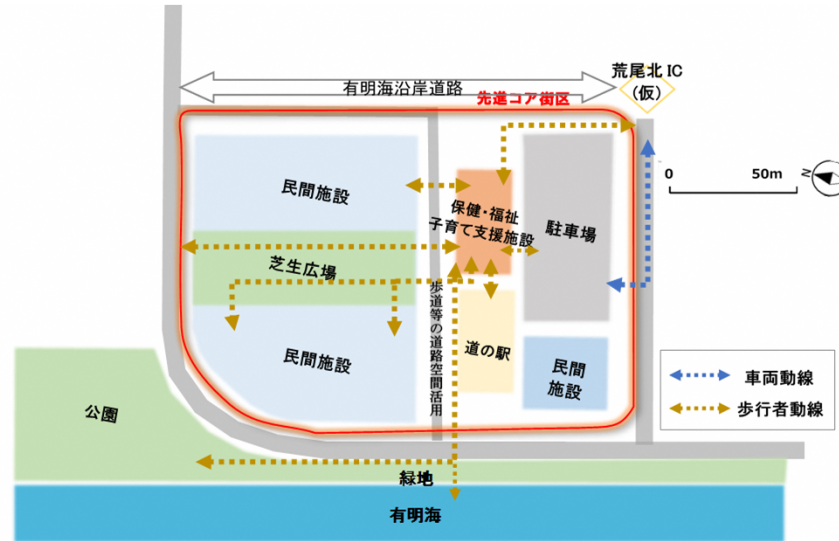
◆施設規模の算出

機能分類	担当課	部屋名	部屋数	面積 (㎡)		
行政事務施設	社会福祉協議会 福祉課 保険介護課 すこやか未来課 子育て支援課	事務室	1	701		
		会議室	3	152		
		トイレ(男女)	2	32		
保健機能	すこやか未来課	健診会場	1	374		
		待合室	1	84		
		印刷作業室	1	8		
		更衣室	1	30		
		倉庫	1	54		
		書庫スペース	1	28		
		洗濯室	1	8		
		検診車駐車スペース及び屋根	1	0		
福祉機能	社会福祉協議会 福祉課 保険介護課 (すこやか未来課)	介護予防スペース	0	0		
		貸室	1	73		
		コホート研究室	1	68		
		コホート展示室	0	0		
		書庫	1	32		
		倉庫	2	36		
		啓発コーナー	0	0		
子育て機能	子育て支援課 すこやか未来課	遊び場スペース	1	43	530	825
		託児室	1	86		
		子どもトイレ	1	16		
		情報コーナー	0	0		
		授乳室	1	15		
		ベビーカー置き場	5	5		
		外部用トイレ(男女,多目的)	1	45		
		共有・ユーティリティ	運動スペース兼サークル活動室兼多目的スペース	0	0	
共有・ユーティリティ	調理室	1	100			
	飲食、休憩スペース	1	50			
	相談室	6	85			
	合計		37	2125	2612	2907

◆施設配置

ゾーニング

より効果的な価値提供を目指す観点から、南新地地区の周辺施設との機能連携のイメージについて、以下のような考え方で具体化する。

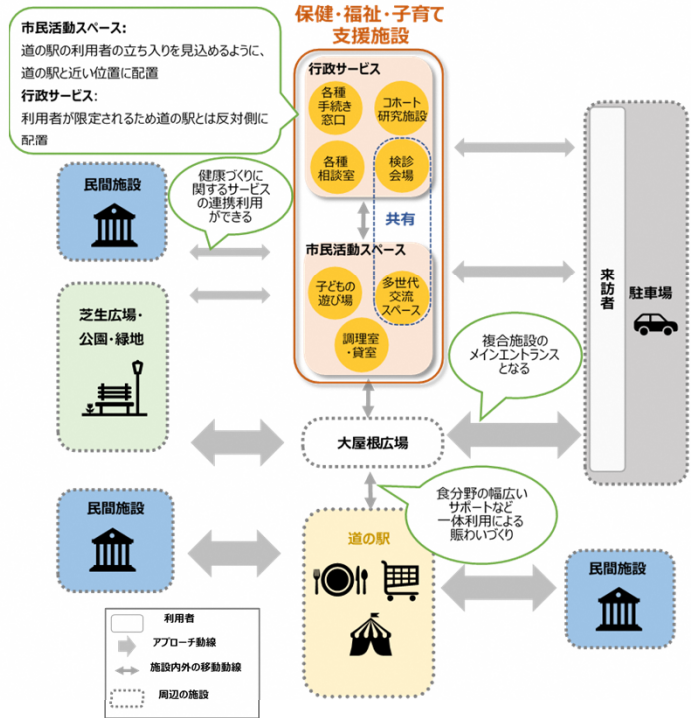


- ① 市民や来訪者のアクセス性に配慮した動線計画
 - 本施設は、来訪者のアクセスを考慮し、国道389号及び将来的な有明海沿岸道路の開通に伴い設置が予定される荒尾北ICに近い南側に駐車場を配置し、駐車場に隣接する形で計画予定地の中央に本施設を配置する。
- ② 周辺環境と連携した動線計画
 - 本施設と密な連携を行う道の駅は、イベント等の連携時に一体的な利用ができるように、本施設と隣接する西側の位置に配置する。
 - その他民間施設が連携しやすいように、芝生広場との連携を重視した配置にし、芝生広場を介して民間施設につながる動線を配置する。

配置方針

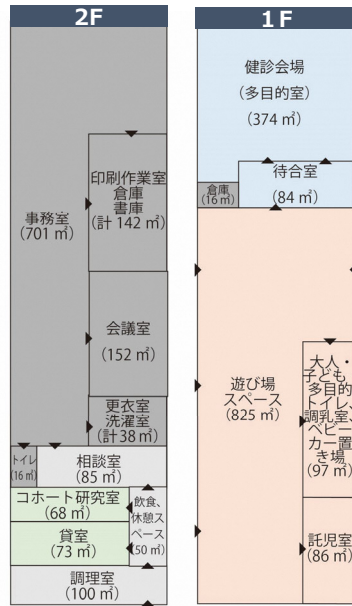
機能の配置方針は、施設内外の機能連携等を考慮して、以下を基本方針とする。

- 道の駅と食での密な連携を図るために、道の駅との間にイベント広場を配置し、イベント広場と芝生広場や公園がつながり一体的な活用ができるような配置にする。
 - 道の駅と連携した賑わいの創出のために、イベント広場側をメインエントランスとし、行政サービスや市民活動等、個別の来訪目的に対応したエントランスを駐車場側に配置する。
 - 市民活動の機能を、サービスの連携が行いやすい民間施設や芝生広場、公園側に配置し、動線を確保する。
 - 道の駅の利用者の立ち入りを見込める市民活動スペースを道の駅に近い位置に配置し、利用者が限定される行政サービス関連の施設は道の駅とは反対側に配置する。
 - 本施設に隣接して検診車を8台程度停車できる場所を確保する。
 - 子育て世代にも使いやすい施設のレイアウトにする。
- 例) 駐車場と本施設の距離が遠くなく、自動車での利用がしやすいなど
 例) 調理室はベビーカーの入室可能であり、子どものプレイスペースがあるなど
 例) 調理室は外から様子を覗けるようにし、参加していない人も雰囲気を楽しむようにするなど
- 安全性や衛生面での配慮が行き届いた施設環境の整備
 - 平常時だけでなく、災害時等を想定した施設のレイアウトにする。

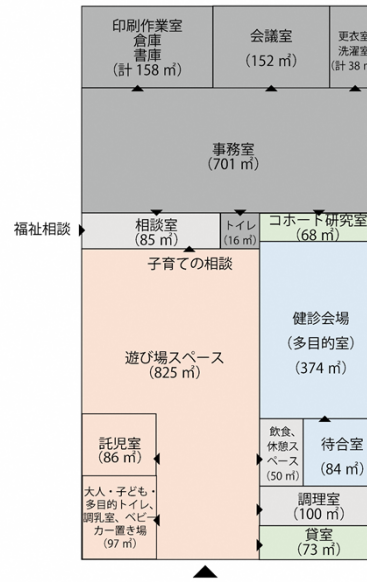


◆配置計画 ゾーニング及び配置方針に基づく配置計画は以下の通りである。

【2階建て案】



【平屋建て案】



主な施設	考え方	1F		2F		面積 (m)		
		○	○	○	○			
健診会場/待合室	健診会場として使用しない場合、多目的スペースとして他の用途に活用できるように1階に配置する。	○				458		
執務室	利用者が限定されるため、道の駅とは離れた場所に配置が可能であり、2階に配置する。(倉庫は一部1階に配置)	○	○			1065(うち1階に16m)		
相談室	利用者のプライバシーの観点から2階の奥まった場所に配置する。		○			85		
コホート研究室	利用者が限定される施設であるため、道の駅とは離れた場所に配置する。		○			68		
遊び場スペース	ベビーカーでの利用なども想定し、1階に配置する。また、道の駅の利用者の立ち入りを見込めるように、道の駅に近い位置に配置する。	○			43	530	825	
トイレ/託児室/授乳室/ベビーカー置き場	遊び場スペースとの一体的な利用を考え、遊び場スペースに近い位置に配置する。トイレスペースは健診利用の人が使うことも想定し、健診会場の近くに配置する。	○				183		
貸室	利用者が目的をもって利用する施設になるため、2階に配置する。		○			73		
調理室	道の駅と連携利用ができるよう、道の駅の近くに配置する。		○			100		
飲食・休憩スペース	調理室と一体となるような位置に配置する。		○			50		
1階面積合計					700	1187	1482	
2階面積合計						1425		

主な施設	考え方	面積 (m)		
健診会場 待合室	行政の保健事業の一環として利用するため、執務室に近くなるように配置する。また、健診会場として使用しないときは多目的スペースとして他の用途に活用できるように、遊び場スペース等とも近い位置に配置する。	458		
執務室/コホート研究室	利用者が限定される施設であるため、道の駅とは離れた場所に配置する。	1133		
相談室	子育ての相談は遊び場スペースから気軽に来れるよう、遊び場スペースの隣に配置する。その他の相談については行政側に配置する。	85		
遊び場スペース	道の駅の利用者の立ち入りを見込めるように、道の駅に近い位置に配置する。	43	530	825
大人・子ども多目的トイレ/託児室、授乳室、ベビーカー置き場	遊び場スペースとの一体的な利用を考え、遊び場スペースに近い位置に配置する。	183		
調理室・貸室	遊び場スペースと同様、オープンなスペースとなるため、道の駅に近い位置に配置する。	173		
飲食・休憩スペース	調理室に付随する施設であるとともに、待合室と一体的に活用できるような位置に配置する。	50		
面積合計		2125	2612	2907

◆駐車場の配置の考え方

- ・道の駅の利用が見込まれる大型車駐車場が道の駅側、普通車とおもいやり駐車場が保福子施設側になるように配置する。
- ・道の駅の観光バスでの利用を見据え、駐車場からの歩行者動線を確認し、歩行者と自動車の動線が錯綜しないように留意する

◆事業手法 事業手法を以下の項目の視点から検討する。

■事業手法の評価 ※複合化：道の駅との複合化を想定する場合

事業手法	従来手法		DBO		PFI手法	
	道の駅単体整備	複合化※	道の駅単体整備	複合化※	道の駅単体整備	複合化※
民間のノウハウ活用	民間ノウハウが発揮される余地が少ない	▲	民間ノウハウが発揮する余地がある	○	民間ノウハウが発揮する余地がある	○
財政支出の削減・平準化等	コスト削減の可能性は低い	▲	財政支出の削減	○	財政支出の削減	○
	初期投資の負担が大きい	▲	初期投資の負担が大きい	▲	財政支出の平準化及び初年度の負担軽減が期待できる	○
開業までの期間	○	○	早期開設が可能	▲	1年程度開設期間が延長	▲
VFM	-	-	◎	◎	◎	◎
参画意欲	◎	◎	可能とする意見が大半。	○	可能とする意見が多い。	○
総合評価	▲	▲	最短で開業できる利点はあるものの、民間のノウハウを活用した効率的かつ魅力的な施設整備、財政支出の削減・平準化等の効果が小さい。	○	民間のノウハウを活用した効率的かつ魅力的な施設整備が可能だが、初期投資の負担が大きくなる可能性がある。	◎

◆スケジュール

南新地地区ウェルネス拠点基本構想のロードマップを踏まえ、令和7年度の開業を目指し、令和4～6年度に基本設計・実施設計、令和6～7年度に工事発注・建設というスケジュールを想定する。

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本構想	■	■	■	■	■	■
基本計画		■	■	■	■	■
設計	基本設計		■	■	■	■
	実施設計			■	■	■
建設工事				■	■	■
PFI事業者の募集・選定		■	■	■	■	■